

瑞風

Ecole Japonaise  
Complementary de Genève

http://www.geneve-hosyuko.ch

発行責任者：大野 政信

## 学校評価にご協力ありがとうございました！

昨年の12月には、お忙しい中、学校評価を提出して頂きましてありがとうございました。その結果が集計できましたので、学校だよりでお知らせいたします。

今年度の学校評価は、昨年度に引き続いて「本年度の重点目標」の15項目について、教職員の自己評価、児童生徒評価（これには自己評価も含まれます）、保護者評価によって、成果と課題を明らかにするために行いました。その集計結果は、別紙のグラフのようになりました。

全体的に見て教職員評価は厳しめの、児童生徒評価はやや厳しめの、保護者評価は優しいの評価結果になっている点は昨年度と同じですが、総合評価がAの項目は昨年度より増えています。しかし、AとBの合計が80%に達していない項目は課題になると思います。具体的には、教職員評価2の「楽しく分かりやすい授業づくり」と、3の「達成感を得られる授業づくり」、4の「ICTを活用した授業づくり」の3項目と、教職員評価10の「家庭学習の取り組み方」と11の「学習内容や履修状況のお知らせ」の2項目です。前者については、昨年度と同様に本年度も研究授業と授業検討会を何回も行ってきましたので、教職員の授業に対する評価規準が高くなったためと考えますが、今後も職員一同で授業検討を重ねて、よりよい授業づくりに努めたいと思います。一方、後者については大きな課題ととらえ、子どもたちが意欲的に取り組める宿題の内容や量について、また子どもたちの励みになるような学習評価のあり方について、よりよい方向を検討していきたいと思います。

また、評価結果がCやDがかった項目については、どうしてそのような評価結果になったのかをよく分析し、改善のための手立てをとりたいと思います。特に、児童生徒評価においてD評価がかった項目については、その原因をよく把握して、個々に寄り添った対応をしたいと思います。保護者の皆様もお子様のことでお気づきのことがあれば、学級担任や校長に遠慮なくお話しください。



始業式に臨む幼児部の子どもたち

## たくさんのご意見をありがとうございました！

15項目のABCDの評価の他に、記述欄にたくさんご意見を頂きました。中でも学級担任の指導に対して、ねぎらいの言葉をたくさん頂いたことには心から感謝致します。また、指導に対するご要望は真摯に受け止め、よりよい方向に改善していきたいと思っております。今後も皆様のご支援を受けて、子どもたちのために精一杯職務に精励いたしますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、そのほかに全体に関わるいくつかのご意見やご質問がありましたので、項目を立ててご説明させていただきます。すべの方への回答になっていない点がありましたら、先にお詫び申し上げます。

### 1. 学校運営全般について

長期滞在の児童生徒向けの学習目標の設定や、日本語補充教室の設置を計画してほしいというご意見がありました。長期滞在者の増加への対応については、運営委員会で何度も検討を重ねてきましたが、現段階ではクラスの少人数化を進め、習熟度別授業やTT授業を織り交ぜながら、一人一人に目が行き届いた指導をすること。また、教職員の授業力を向上させて、子どもたちがお互いの違いを理解しながら助け合って学習できるようにすることで対応し、その教育効果について少し時間をかけて見て行こうということになりました。したがって、長期滞在の児童生徒向けの学習目標は設定してありませんが、到達度に幅を持たせた4段階の評価をして、子どもたちを励ますようにしています。また、日本語補充教室の設置については、空き教室がない現段階は設置は難しいですが、長期滞在者の増加への対応策の1つとして引き続き検討課題としたいと思います。

また、学校のスケジュールをフランス在住者にも配慮して立ててほしいというご意見がありました。一番大きい課題は年間計画の立て方だと思っておりますが、計画を立てるときはジュネーブ州だけではなく、他州やフランスのスケジュールを見て、できるだけ日程的に不都合が出ないように注意しています。しかし、どうしてもすべての地区のスケジュールに合わせられないところもありますので、そうした場合は対応策を考えますので、遠慮なくおっしゃってください。

### 2. 時間割について

小学部と同じ時間帯に幼児部を設置してほしいというご要望が複数ありました。このことにつきましては、仮申し込みの状況から、来年度小学校5、6年生が各曜日1クラスで行けることが見込まれましたので、本申し込みにあるように幼児部を設置させて頂きました。幼児部と小学部に兄弟姉妹がおられるご家庭にとって、受講の時間帯が離れている場合は、送迎の負担が非常に大きいことは十分承知しているつもりです。したがって、可能な場合は設置致しますが、受講申し込み児童数の状況から、設置できない場合もありますことをご理解頂きたいと思っております。

### 3. 宿題について

宿題をするのに非常に時間がかかって、家族団らんの時間が持てないというご意見がありました。宿題にかかる時間は個人差が大きいと思っておりますので、お子さんにとって明らかに過重だと思われる場合は、担任にご相談ください。お子さんの状況に合わせて、柔軟に対応したいと思います。また、学校全体としましても、子どもたちが意欲的に取り組み、かつ学習したことがしっかり定着できる

- ような宿題のあり方について、今後十分に検討していきたいと思ひます。
4. 学校行事について
 

運動会をジュネーブ州の祝日のある週に設定しないでほしいというご意見がありました。運動会は2学期の始業週から数えて3週間後に設定しています。これは運動会の準備期間として3週間は必要と考えているためです。また、4週間後に設定していないのは、9月は中旬ぐらいから天候が崩れることが多くなることと、次の行事である学習意見発表会の準備期間が短くなってしまうためです。2学期の始業週は、各州のパーク休みや夏休みの設定期間によって左右されますので、運動会がジュネーブ州の祝日のある週と重なる年もあることは、お詫びするしかありません。

集中授業の時期について、出席率を考えて2学期の始業週の前週にしたかどうかというご意見がありました。ことごとくつきましては、運営委員会でも十分検討しましたが、2学期の始業週の前週はすでに新年度が始まっている州もあることや、集中授業は子どもにも職員にもエネルギーがいることですので、疲れを残しながら2学期を始業させることは避けたいと考えているからです。
  5. 異学年交流について
 

幼児部の異学年交流が少ないのではないかとご意見がありました。確かに小学部と授業時間が異なる幼児部では、そうした交流ができていくと思ひています。昨年も同じようなご意見をいただいていますので、小学部で活動しているところをビデオ撮りして、幼児部の子どもたちに見せるなどの工夫をしていきたいと思ひます。
  6. 外部講師の講演について
 

子どもたちの興味を広げるいい機会になるので、小学部5、6年生にも行ったらいいのではないかとご意見を頂きました。学習計画と照らし合わせながら、可能かどうか検討させていただきます。
  7. 懇談会・茶話会について
 

懇談会や茶話会の日時が兄弟学年で重なっていて、参加できなかったというご意見をいただきました。学校行事などの関係から、懇談会や茶話会を設定しやすい時期が重なったためと考えますが、来年度はできるだけ重ならないように調整したいと思ひます。また、開催の時間については、小中を兼務している担任の場合は難しいのですが、学校に残る子どもの管理をどうするかということをお考えながら、できるだけ皆さんが参加しやすい時間帯を考えたいと思ひます。
  8. 学級連絡員・図書ボランティアなどの保護者ボランティアについて
 

保護者ボランティアの仕事を明確にして、仕事内容も精選してほしいというご意見がありました。仕事内容については年度の最初の会で確認していますし、仕事の量についても年々少なくなっているのではないかと思ひます。もしかしたら、日本のそうした委員の仕事と比べて、必要以上に責任をお感じになってのご意見ではないかと思ひます。ただ、補習校を維持するためには、保護者の皆さんのお力添えがないとできないこともありますので、何卒よろしくお願ひ致します。
  9. 警備員について
 

警備員の配置時間を考えてほしいというご意見をいただきました。現在警備員は、子どもが登下校する時間を中心に配置されていますが、子どもの登下校の時間が少しずつ違ひますので、すべての子どもの登下校の時間に配置されているとは限らないことも確かです。この点について、経費はかかりますが、子どもの安全には替えられませんので、運営委員会で検討させていただきます。
  10. 教育施設について
 

教室の天井の水漏れ跡の補修についてご指摘がありました。大家さんには確認してもらっているのですが、まだ直して頂けないので、管理会社にもう一度連絡致します。
  11. 図書室の本の整理について
 

図書室の本の背表紙に整理のためのシールが貼ってあるのに、その通りに並んでいないので返却するのに苦労したというご意見をいただきました。図書ボランティアの皆さんが交替で整理してくださっているにもかかわらず、子どもたちの返却の仕方がきちんとしていないためです。子どもたちに返却の仕方をもう一度しっかり指導したいと思ひます。
  12. 配布物について
 

子どもの学習に関係のない配布物はペーパーレスでいいというご意見を頂きました。昨年も同様のご意見をいただいていますので、子どもに直接見てもらいたいものや記載して返事をいただくものを除いて、できるだけペーパーレス化を図りたいと思ひます。ただ、年度初めの一斉メール送信テストが終わるまでは、すべて印刷物で配布しますので、ご理解をお願ひ致します。
  13. 授業料の支払い方法について
 

授業料の一括払いはできないのかというご質問がありました。現在3期払いになっているのは、兄弟がたくさんおられるご家庭の負担を考えてということと、年度の途中で退学される場合に、支払い済みの期については返金措置をとっておらず、その額を少額におさえるためということがあります。この点をご理解頂いて、ご協力をよろしくお願ひ致します。

## 行事予定・配布物とお知らせ

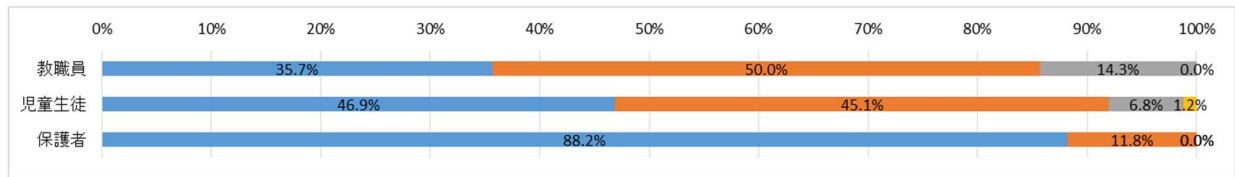
月/日	行事予定・連絡・配布物
1/16～1/20	・瑞風14号(家)・2018年度受講本申込書(全)・受講申込書提出のお願ひ(家)
1/23～1/27	・中・高校部入学資料(小6、中3)・卒業式のご案内(小6、中3) ・入学説明会(1/27、新幼児部11:00~11:40、新小114:00~14:40)・入学説明会資料(欠席者)(現年長以外の新入学家庭はメール配信、現年長は翌週に配布)
1/30～2/3	・オープンスクール・幼児部年長組入学にあたって(資料)(年中在籍者) ・2018年度受講本申込書提出締め切り(2/3)
2/4	・漢字検定(希望者)
2/6～2/10	・図書委員会(写真撮影あり9:30~11:00)
2/13～2/17	・補習校2月休み

※予定は変更になる場合があります。

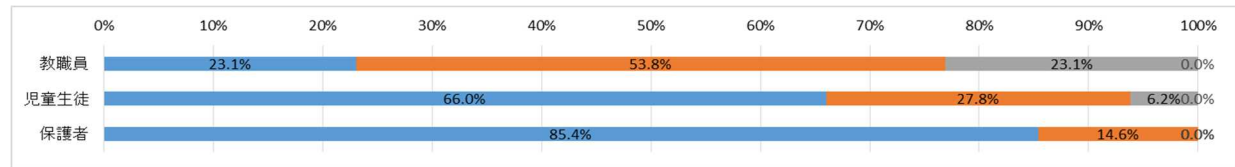
## 2017年度 学校評価結果

2018.1.17

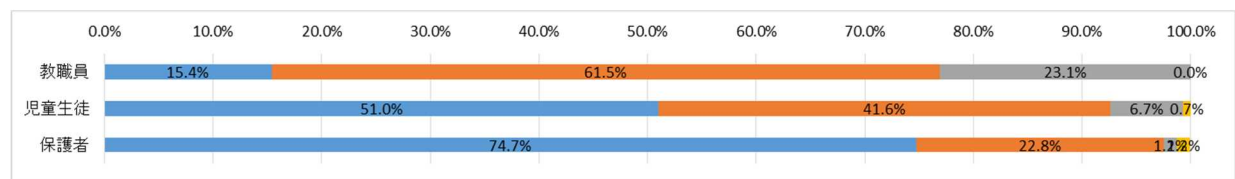
1. 学習規律を確立して、児童生徒が落ち着いて学習に取り組めるように努める。



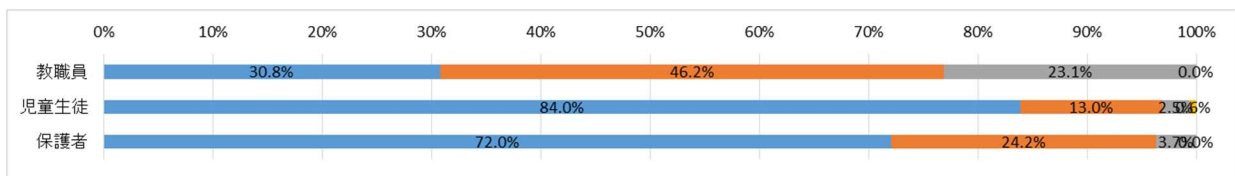
2. ねらいを明確にした、楽しく分かりやすい授業づくりに努める。



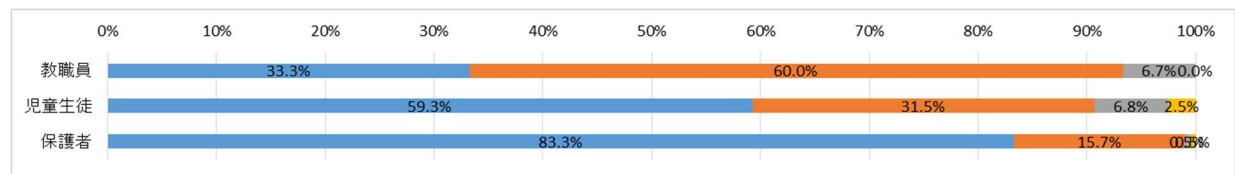
3. 習熟度別授業やTT授業を織り交ぜて、一人一人が達成感を得られる授業づくりに努める。



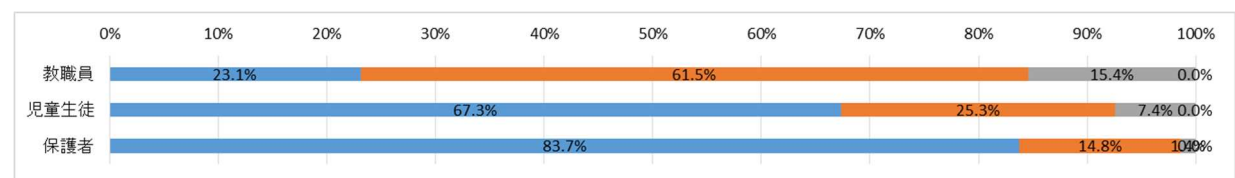
4. ICT機器（PC、TV、プロジェクター、書画カメラなど）を活用した授業づくりに努める。



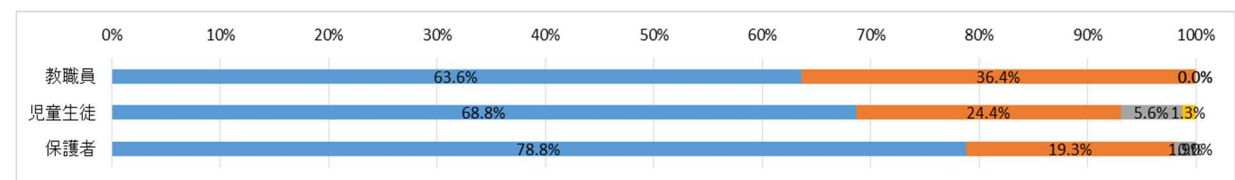
5. あいさつの指導を通して、豊かな心の育成に努める。



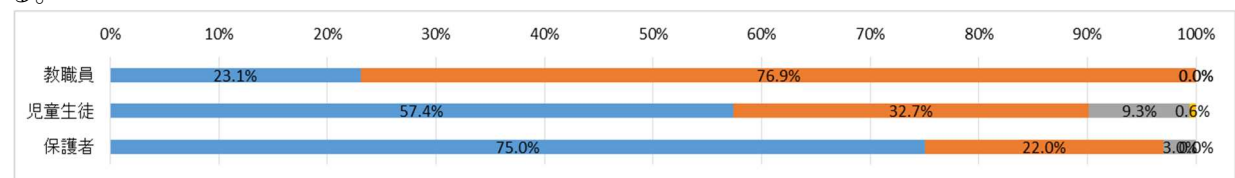
6. 一人一人を大切にされた学級づくりに努める。



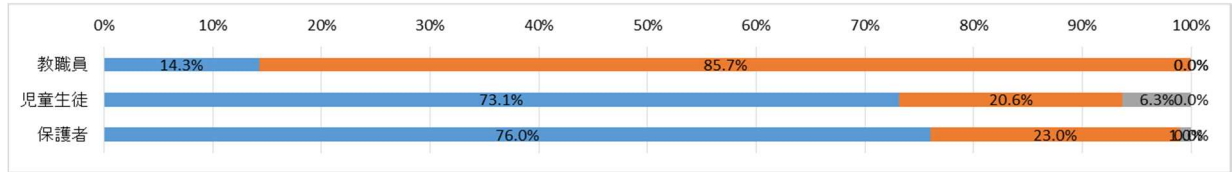
7. 運動会などの行事を通して、異学年の心の交流に努める。



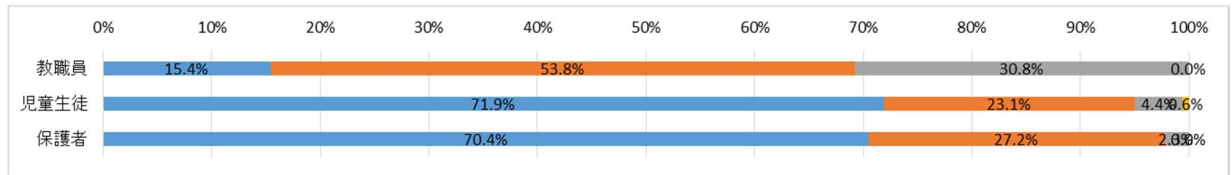
8. お互いの違いを尊重し、友だちと協力してよりよい学校生活を送ろうとする態度の育成に努める。



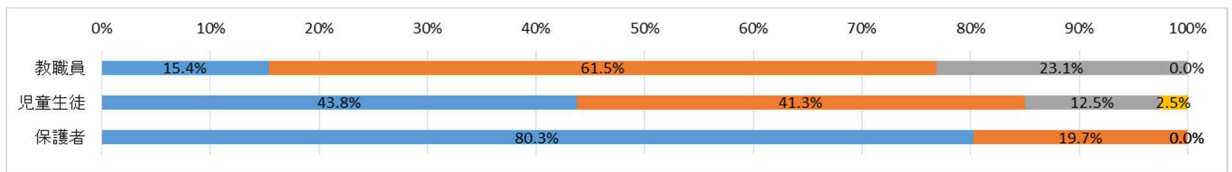
9. 児童生徒や保護者の相談に適切に応じる。



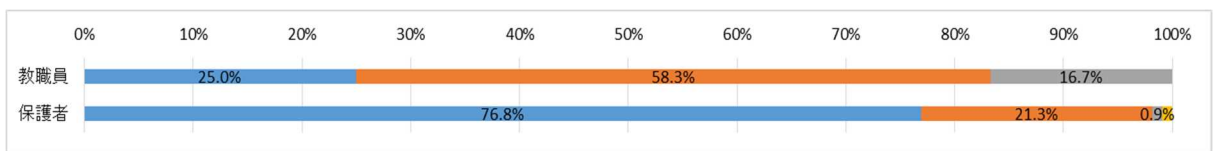
10. 宿題を含めた家庭学習の取り組み方について、児童生徒や保護者にていねいに説明する。



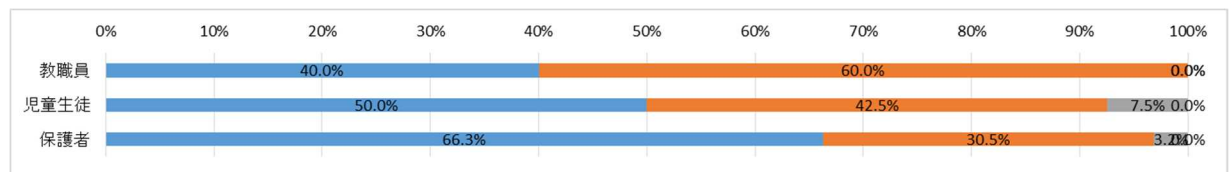
11. 学年だよりや学級だより、「あゆみ」を通じて、学習内容や履修状況を児童生徒や保護者に適切に知らせる。



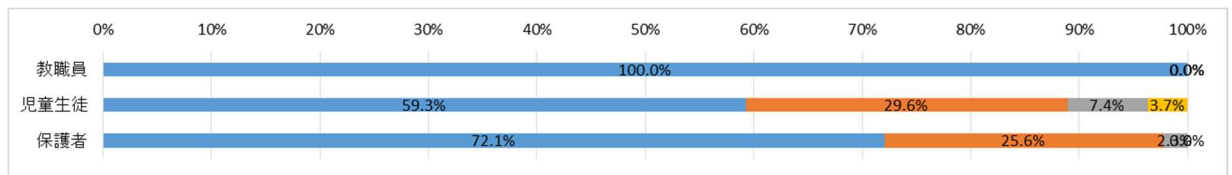
12. 懇談会や茶話会などを通して、保護者との積極的な意思疎通に努める。



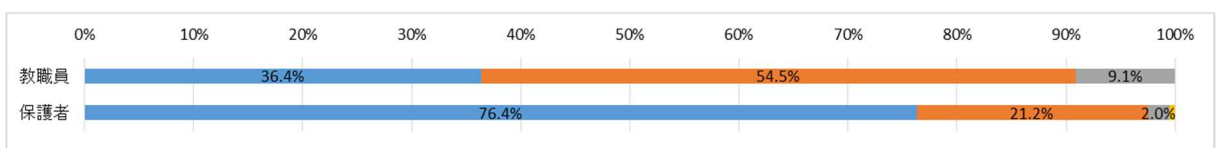
13. 中学部と高校部で外部講師を招いて講演を催すなど、キャリア教育に努める。



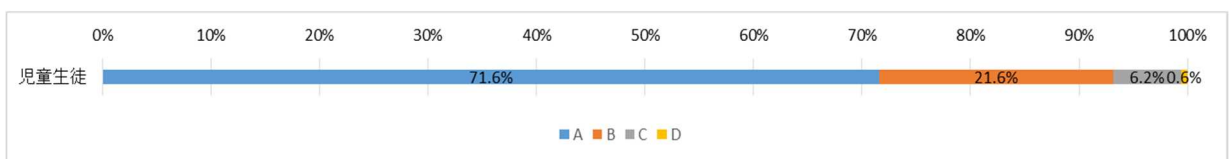
14. 国際機関の見学などを通して、ジュネーブの特性を生かした教育に努める。



15. 警備員の配置や避難訓練、一斉メールの配信などによって、児童生徒の安全確保に努める。



16. 補習校で、友だちや先生と楽しく学校生活を送っている。



ABCによる総合評価(A:250~300 B:150~249 C:50~149 D:50未満)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
教職員	B221	B200	B192	B208	B227	B208	A264	B223	B214	B185	B192	B208	B240	A300	B227	—
児童生徒	B238	A260	B243	A281	B248	A260	A261	B247	A267	A266	B227	—	B243	B245	—	A264
保護者	A288	A285	A271	A268	A282	A282	A277	A272	A275	A268	A280	A274	A263	A270	A274	—